



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 61 号
2017年10月20日
編集兼発行人
谷口 正俊

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



霞ヶ浦の風物詩「帆引き船と筑波山」

撮影者：溝口 忠憲

撮影日：平成 27 年 9 月 20 日

カメラ：ニコン D600

S 速度 1/1000、絞り f4.5、焦点距離 122mm

撮影場所：霞ヶ浦

撮影余話：中学生の時に社会科の授業で霞ヶ浦独特の漁法として習った帆引き網漁法は、高度成長の時代に姿を消しましたが、その後霞ヶ浦の風物詩観光帆引き船として復活しています。最近ではカラフルな七色帆引き船が人気ですが、昔ながらの真っ白い帆に包み込まれるように筑波山を入れて撮影しました。後世に残したい美しい風物です。

リレー随筆 (61)

日立理科クラブの歩みと更なる発展を期して

佐藤 一男



日立理科クラブも設立以来 9 年目を走っています。順調のようですが、苦労の歳月でした。2009 年 5 月開所に漕ぎつける前の 3 年間が大変でした。

私が茨城支部の支部長になったばかりの頃でしたが、退職の挨拶に金井・庄山両相談役の所へ伺った時、「子供たちの理科嫌いは重大な問題だ。何とか出来ぬか」と持ちかけられたのが発端でした。

早速日立市に戻り、当時の榎村市長(故人)と河井教育長に面談をお願いしました。そこで「子供たちは理科が楽しくない」と言っていることを知り、楽しくするには「楽しい実験」をすべきだと直感しました。仲間集めに際し、教員免許のない日立OBは尻込みでした。活動資金の目途もありません。教育委員会はやる気十分ですが、学校現場はそれ程でもありません。正直言って茨城支部も冷めており、五里霧中でした。

局面が打開に向かったのは、加藤洋明さん(故人)が進めていた原子力広報活動「ひわまり」の方たちが協力を約束してくれたことでした。さらに、日立技術士会と東工大「くらりか」に理科実験モデル教室を開催して貰い、広くPRした結果仲間が集まり始めたのです。

先生方のために「夏休み理科教室」を開催して日立理科クラブを理解していただきました。クラブの教育方針は、「手作りの教材で、学校現場に根差した楽しい理科実験をしよう」でしたから、協力を得るのが早かったようです。小学校 25 校へ配属した「理科室のおじさん」は鍵を外し理科室を開放してくれました。クラブで開くモノづくり教室、水ロケット教室にも多くの子どもたちが集まってくれました。おかげさまで「理科が楽しい」という感想文が多くなり、今では「将来、科学者に

なりたい」という子が出始めています。また、全国学力テスト時の「理科が好きですか」というアンケートで、日立市の子どもたちは全国平均を 10% 上まわる好結果を残してくれました。

2015 年 11 月、公益財団法人から「社会貢献賞」をいただきました。子どもたちの理科教育に活躍している企業OBのボランティア活動が高く評価されました。また、2017 年 5 月 11 日、NHK ラジオ深夜便で「ぼくら理科室のおじさん」が放送され、広く全国に知れ渡りました。

私も今年傘寿になって、代表理事を降り、顧問になりました。小川市長から温かい感謝状をいただきました。これは子どもたちとクラブ会員を代表していただいたものと理解しています。

開所式の時、当時の榎村市長が「当市からノーベル賞を出すには、20 年、30 年がかかります。」と言っていたのが思い出されます。まさに「教育は継続」です。10 年先も、20 年先も小中学生の理科学教育が発展するよう頑張りたいと思います。

日立理科クラブは、「産」「学」「官」そして「企業OB」の協調で大きく発展しました。今後は企業OBだけではなく多くの市民が参加する理科学都市・日立市へ挑戦しようではありませんか。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



社会貢献賞を受賞



小川市長より感謝状

音楽を一つの趣味とした歩み

《H響、ヒマナスターズでの演奏活動》

田原 和雄



音楽との馴れ初め

初めて楽器に触れたのは郷里山梨の中学に入学する直前の春休みであった。中学校の音楽室からの

楽器の音に魅せられ窓越しに覗いたところ、先輩からラッパを吹いてみると誘われたのが発端で、興味本位にトランペットのマウスピースに唇を当て強息で吹いた時、たまたま音が出てお前は上手だと褒められたことが縁の始まりだった。中学校ではその秋には先輩方の努力のおかげで文化放送主催の全国中学校音楽大会(東京の神田共立講堂で開催)に参加できた。当時は楽器のケースもなく、自作することになり、楽器の寸法を測り四苦八苦しながら作り上げた。今思うとそれが私の作りの原点になったと思う。その当時は体も小柄で椅子に座るとつま先がようやく床に着くような状況で、緊張しながらも滝廉太郎作曲の『荒城の月』を無事演奏した時の嬉しさは今も覚えている。工業高校は質実剛健の気風で、今年で創立百周年を迎えるが、当時の校長先生は「技術者となる前に人間となれ! 感性ある人生を送れ!」を朝礼の度に述べていた。入学と同時に吹奏



昭和29年全国中学校音楽大会前列つま先を立てているのが筆者

楽部に入部し、音の柔らかいコルネットを担当し、野球が強かったので県内及び関東大会にも応援団と共に参加した。特に夏の暑い盛りのアルプススタンドでの行進曲演奏は体力との勝負でもあったが、今は懐かしい思い出となっている。

日立交響楽団との出会い

昭和三十四年九月中旬頃、日立に就職が決まり、その数日後に伊勢湾台風が潮岬から上陸、山梨も水害、山崩れによる電車線路寸断、葡萄棚倒壊等の甚大な被害を受け、今でもその光景が忘れられない。昭和三十五年三月に日立製作所日立研究所に入所し、日立交響楽団(H響と略称)にも入団した。その年は日立製作所創業五十周年に当たり、十一月三日に新装の小平会館で記念式典が挙行され、その当時の倉田社長の挨拶をオーケストラボックスの中で聞いたことを覚えている。H響第十六回定期演奏会は『創業五十周年記念演奏会』として十一月六日に開催され、作曲家の服部正氏に作曲依頼していた交響的前奏曲「日立讃歌」とベートーベン作曲第九交響曲「合唱付」を演奏した。特に交響曲第九番は芸大出身のソリストを招き、H響と各工場の合唱団が一丸となって進めてきた大規模な演奏会で、その迫



創業50周年記念演奏会(昭和35年)

力と素晴らしさに感激した。昭和四十一年には日本貿易振興財団により「日立交響楽団」の映画が作られ、撮影が深夜に及ぶこともあったが、国内及び欧米で放映され高い評価を受けた。昭和五十二年はH響創立二十五周年で記念誌の「日立交響楽団史」の編纂にも参加できた。定期演奏会は現在百二十三回を数え、地域文化発展に寄与している。H響退団はアマチュアの命である練習に参加できなくなっただけである。

ヒマナスターズとの出会い

ヒマナスターズは昭和三十六年に多賀工場同期入社で、その後茨専(日工専の四期)を経てから、桜川寮に入寮した同期の仲間と結成したと聞いている。当時はダンスパーティーや寮祭等で演奏していたが、会社は成長期であり、新たな工場へのメンバーの転勤、多忙な毎日等で自然消滅している。正にあれから四十年、当時のメンバーが定年になり、米国で二十三年間工場の立ち上げ等に携わってきた一人が帰国したのを機に再結成することになった。しかし当初のスティールギターは老朽化したトランペットで代わりができないかというところで筆者も参加する機会を得た。演奏曲目は日立出身の作曲家吉田正先生のムード歌謡を中心とし、青春時代に憧れたヒマナスターズをもじってヒマナスターズとして2



2008年ヒマナスターズ再結成吉田正音楽記念館にて

008年秋に再結成した。当初、メンバーは8名(トランペット、フルート、ベースギター、ウクレレ、ギターが各1名、ボーカリスト3名)であったが三年前にメンバー1名を病で失い、現在7名で活動している。演奏は日立市の交流センター及び集会所等とひたちなか市、水戸市、那珂市、常陸太田市、遠くは筑西市や福島県川内村等からの依頼に対応し9年間で100回近い演奏会を積み重ねている。特に吉田記念館主催の「吉田メロディーを歌おう」、日立ブーケ・ライオンズ主催の「チャリテイコンサート」は音楽ホールで開催され、そこでの演奏は緊張感と達成感で良き刺激を受けている。演奏内容は懐かしい吉田メロディーを皆様と共に楽しむスタイルが好評で年配者に親しまれている。このため演奏プログラムは聴衆に合わせた選曲と一緒に歌う等の工夫をし、自らも楽しみながら演奏を続けている。今、愛用しているトランペットはH響入団当時から世話になった先輩の形見で、今後とも先輩に恥じない演奏を心がけ、メンバー共々感性ある演奏活動を続けたいと考えている。



2016年吉田メロディー演奏風景

田原和雄氏 連絡先

〒319-0032 日立市西成沢町 2-32-13
電話 0294-35-6644
peace-tahara@fta.biglobe.ne.jp

同好会行事に参加して



「デジカメクラブ」 小林 康浩

デジカメクラブに参加するようになったのは支部の第1回「同好会合同写真展」が催された2005年の頃からで、その時の写真展では「野鳥コーナー」に野鳥の写真を出品していました。当時、私は野鳥観察用スコープとコンパクトデジカメを組み合わせたデジスコ撮影にのめりこみ、毎年のように北海道や山形の飛島に出かけて野鳥を追いかけておりました。デジスコ撮影は野鳥の超望遠撮影には威力を発揮しますが、速写性に弱く動きの速い野鳥撮影では失敗が多くいつも泣きを見ていました。その後、念願の一眼レフを購入して撮影対象も広がり、現在は野鳥撮影だけでなく風景や花の撮影も楽しんでいます。例会では毎回皆さんから作品の紹介があり、構図や画像の補正について解説して頂くのが大変勉強になって作品づくりの強力な糧となっています。また、毎月の撮影会にも参加しています。例年開催されている同好会合同写真展には自己満足の写真を出品して自画自賛している今日この頃です。



「写真五七五」 細江 徹

文芸的な才はないので、自分自身俳句を作れるとは思っていませんでした。チャレンジのつもりで取りあえず2015年1月見学という形で例会に参加しました。各自がその月に詠んだ3作品を発表し皆さんで合評しあう(結構辛口のコメントが多く、それに耐

て人間的に成長するという素晴らしい効果がある?)。その後の新年会にも参加し、何の根拠もなく小生にもできそうだと翌2月から入会させていただきました。それから2年、まだまだ納得できるような句はありませんが、季節に敏感になったり、花や昆虫に興味を持ったりと何か得した気分です。同じ写真でそれぞれが句を作る年3回の題詠会では他の会員の作品に感心し、皆で小旅行し句を作る吟行会では俳人になった気分を味わえるなどさまざまな経験もしました。

「写真五七五」では俳句と川柳の仲間を募集しています。貴方も会員になってみませんか。

「旅行会」 伊藤 久雄



8月1日の旅行会に参加して「箱根」に行きました。ナニ?今「箱根」と思う方が多いと思いますが、大涌谷の噴煙も見られ、復元された関所跡が往時を偲ばせるなど、日々変化していることに驚かされました。3月の旅行会では「目黒川・雅叙園」の桜を見に行きました。残念ながら花はまだ少し早かったのですが、雅叙園の百段階段に連なる、個人では入りにくい珍しい歴史を感じる座敷を見せてくれました。

秋には日光に行く計画があるようです。いまさら日光と思うでしょうが平成の大修理で華やかになった陽明門のほかに、「逍遙園」と呼ばれるお庭の、秋の景色は期待できそうです。

旅行会はデジカメクラブの撮影会を兼ねており、幹事さんの努力で、折々の良い被写体を求め、個人では訪れにくい所へ連れて行ってくれます。皆様もどうぞ。

支部からのお知らせ

日立社友クラブ理事会・茨城支部役員会報告

*第66期-第4回 日立社友クラブ理事会報告

1. 開催日：平成29年9月7日(木)
2. 議事
 - ・新入会員の件：48名が入会され、9月7日時点の会員数は7,038名となった。
 - ・第67回日立社友クラブ総会の件：10月6日(金) ホテルニューオータニで実施。長寿祝 白寿：6名 米寿：95名 喜寿：475名

*平成29年9月 茨城支部役員会報告

1. 開催日：平成29年9月14日(木)
2. 議事
 - ・新入会員の審議：新入会員1名の審議が行われ、入会が承認された。9月12日現在で茨城支部会員数は1,030名となった。(昨年同期比32名減)
 - ・支部ホームページ管理体制変更の件：これまで安田 出氏に管理を委託していたが、10月から茨城支部事務局で管理することになった。詳細については、別途ご連絡します。

*茨城支部新入会員勧誘のお願い

会員の高齢化に伴い会員数が減少方向にあります。

どうか皆様からOB会等で各同好会の活動をPRして頂き、親睦の和の拡大にご協力をお願いします。

年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別にその内容を別紙にてご通知していますので、ご確認の上、納入下さるようお願いいたします。

茨ネット加入のお願い

茨城支部は会員向けのメーリングリスト「茨ネット」で、会員の動向、同好会の開催案内などを発信しています。茨ネット会員へのメールによる支部総会の出欠確認により経費節減も図っています。メールアドレスをお持ちの方で未加入の方は是非加入をお願いします。無料です。加入申込みは中村浩三(kozo@nakamura.email.ne.jp)までお願いします。

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈りいたします。

志賀 好美	平成29年 4月22日	享年90歳
大和田敬治	平成29年 5月9日	享年85歳
小野 茂	平成29年 7月17日	享年95歳
竹内 茂隆	平成29年 8月5日	享年80歳
梅村 和男	平成29年 8月12日	享年80歳
宇野 利男	平成29年 8月21日	享年91歳
山崎 精二	平成29年 9月22日	享年92歳

同好会の行事ご案内 (11月～1月)

1. 第71回歩こう会

【小木津海岸から十王川 鮭の溯上】

- 開催日：平成29年11月2日(木)
雨天11月16日(木)
- 集合：小木津駅東口 10:00
- コース：小木津駅東口発10:10→南静公園→小木津海岸→川尻港→川尻海岸(昼食)→十王川を上る→十王前横穴墓群→十王川を上る→十王駅着 14時頃解散(平坦地 全長約8km)
- 持参品：弁当、飲物、雨具等
- 会費：200円(非会員500円)
- 申込締切：10月26日(木)
- 申込先：石橋 康正
Tel/Fax：0294-37-0439/050-1485-5973
E-mail：yasumasa-ishibashi@ybb.ne.jp

2. 第74回研修会

【花王(株)栃木工場見学と真岡市散策】

栃木県にある花王(株)栃木工場と真岡市の井頭公園・SLキューロク館・真岡木綿会館・二宮尊徳資料館を見学します。

皆様の参加をお待ちしております。

- 開催日：平成29年11月9日(木)
- 集合：大甕駅前(常陽銀行大みか支店前) 7:00
日立電鉄交通サービス南営業所 7:15
- 帰着：大甕駅前 17:45頃の前予定
- 会費：5,500円予定(バス、昼食代、他)
- 募集人員：先着40名
- 申込締切：10月20日(金)
住所、氏名、電話番号を連絡下さい。
- 申込先：奥村 清
Tel/Fax：0294-36-0308
E-mail：kiyoshi-okumura@net1.jway.ne.jp

3. 定例行事予定一覧 (開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		11月	12月	1月				
野鳥・自然観察グループ	本宮公夫 0294-42-3576 motomiyakm@kna.biglobe.ne.jp	27(月)			小山ダム	9:00～	参加費：¥300/回 原則雨天中止	
			18(月)		久慈川河口	9:00～		
				15(月)	千波湖	9:00～		
囲碁の会	日立地区 助川一弥 080-3443-3577 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	8(水)	13(水) 大会	10(水)	大みか拠点	10:00～ (大会 9:30～)	参加費：¥100/回 大会：¥1000	
		22(水)	27(水)	24(水)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	16(木)	21(木)	18(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700	
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	13(月)	11(月)	15(月)	明治商会	10:00～	参加費：¥1700/回	
		27(月)	—	22(月)				
卓球クラブ	長瀬寿美雄 0294-53-8235 cho_san@estate.ocn.ne.jp	1、8 15(水)	6、13 20(水)	10、17 24(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ：¥4500/年	
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	6(月)	4(月)	11(木)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む	
写真五七五	小林啓治 0294-35-3931 kt-koba@net1.jway.ne.jp	3(金) 吟行会	1(金)	5(金)	11/3以外は 大みか拠点	9:00～ 12:00	参加費：¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	HPの会	中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	7(火)	5(火)	9(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥200/回 昼食別途
	基礎講座	安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	14(火)	12(火)	9(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区	佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	28(火)	26(火)	23(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費：¥700/回
	Acrobat XI 講座	安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	17(金)	15(金)	19(金)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
Excel 初級 講座	30(木)		21(木)	25(木)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む	

注) 旅行会(連絡先; 安田 出)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

第13回 デジカメ写真展のご案内

デジカメクラブ、写真五七五グループ、野鳥・自然観察グループ合同で写真展を開催します。会員が撮影した傑作や楽しい写真がいっぱいです。ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ご来場をお待ちしております。

- 日時：12月8日(金)～12月12日(火) 9:00～17:00
(初日は12:00から、最終日は15:00まで)
- 場所：多賀市民プラザ 1階ギャラリー

編集後記 佐藤さんの理科クラブの歩み、日本は科学技術で生きてゆくしかない。その原点である理科を子供たちにいかに楽しく学ばせるか? 産学官と企業OBの強い協調関係を築いてこられたことに敬意を表します。田原さんの演奏活動、トランペットとの出会いが中学時代、全国大会出場の快挙。日立入社後はH響、定年後は「ヒマナスターズ」を結成。まさに趣味の音楽を通して地域文化発展に貢献されていること立派です。

谷口 正俊